

## 各種調査及び取組の結果等について（中間報告）

## 1. 利用動向の把握に関する取組

## (1) 大台ヶ原の利用者数の把握に関する調査分析

## ① 山上駐車場入込み車両数調査（大台ヶ原ビジターセンター調）

平成21年4月21日から11月11日までの大台ヶ原ビジターセンターの調査データを集計した。

- ・ 駐車台数から推計式を用いて算出した利用者数は、平成21年11月11日現在で増加に転じており、149,293人となった。
- ・ 年間車両台数は平成18年度をピークに減少傾向が続いてきたが、今年度は増加に転じた。前年度に比べて乗用車と二輪車は増加したが観光バスは減少した。
- ・ 交通混雑につながる路肩駐車（100台以上）が発生した日数は、今年度は10日と前年度に比べて増加したものの、駐車台数規模は比較的少なかった。

## ② 山上駐車場来訪者実数カウント調査

平成21年8月および10月に計8日間、駐車場入口において来訪者の実数調査を実施した。

- ・ 車両入場台数をもっとも多かったのは10月24日（土）で882台であった。最も少なかったのは8月13日（木）で220台であった。
- ・ 関東や中・四国、九州など遠方からの来訪者が確認されたが、高速道路料金が上限1,000円となる期間にあたる日が調査期間8日中6日あったことが影響していると考えられる。
- ・ 車種別平均乗車人数のうち、乗用車は2.213人/台、二輪車は1.067人/台であり、利用者数推計に用いられている係数（乗用車3.0人、二輪車1.5人）とは乖離が見られた。

## ③ 入下山者カウンター調査

平成21年4月23日から10月31日までのカウンターデータを集計した。

- ・ 10月までの集計結果では、大台ヶ原全体で46,177人が入山カウントされた。そのうち、西大台地区が1,262人、東大台地区が44,915人であった。
- ・ 西大台地区で最も入山カウント数が多かったのは開拓分岐（1,077人）であった。
- ・ 東大台地区で最も入山カウント数が多かったのは日出ヶ岳登山道（30,106人）であった。
- ・ 西大台地区の春から夏にかけての1日あたり最大カウント数は前年度が25人程度であるのに対して、今年度は40人程度となっており、紅葉シーズン以外にも入山者の多い日が見られた。

## ④ 入下山者実数カウント調査

平成21年10月24日（土）～25日（日）の2日間に、日出ヶ岳登山道入山者数カウンターにおいて、入下山者数の実数カウント調査を実施した。

- ・ 24日については、入山者実数が1,310人で、カウンターによる1日の記録率は79.2%であった。下山者実数は391人で1日の記録率は73.1%であった。
- ・ 記録率の低下の原因として、入下山者の集中および雨や霧による誤作動が示唆された。

## ■大台ヶ原の利用者数の把握に係る調査結果の比較

利用者数調査に係る結果を比較した。

- ・山上駐車場来訪者実数カウント調査の結果を 100 とした場合、駐車場入込み車両数から推計した利用者数は最大で 270 となった。
- ・利用者数推計式に用いられている係数のうち、平均乗車人数、回転率共に、調査結果から算出された係数との乖離がみられた。

## 2. 「適正利用に係る交通量の調整」に係る取組

### (2) 大台ヶ原山上駐車場の混雑情報発信

- ・秋季の観光ピーク時に山上駐車場付近の混雑状況等の利用に係る各種情報について、インターネットを活用し、大台ヶ原における自動車利用に関する情報発信を実施した。
- ・早期からのサイト開設準備と事前の告知の徹底等の効果により、過年度に比べてサイトへのアクセス数が増加した（情報配信期間中PC用サイトアクセス数、平成 20 年度：215（8日間）、平成 21 年度：1502（7日間））。
- ・モバイルサイトの利用が午前中に集中するなど、利用者が情報配信の内容を理解し、個々の利用行動や形態に合わせて柔軟に活用していることが伺え、過年度からの継続的实施を通じて、利用の定着化が進んでいると考えられる。

### (3) 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの実施

#### ①ポスター及びリーフレットの作成及び配布・掲示

表1 ポスター及びリーフレットの配布・掲示状況

配布先		ポスター (枚)	リーフレット (枚)	配布・掲出期間
近鉄主要駅	17 駅	17	1,320	平成 21 年 10 月 5 日 ～11 月 1 日*
	(上記の他、各駅に掲出協力を依頼)	60		
道の駅	奈良県内 10 ケ所	9	100	平成 21 年 9 月 18 日～
	奈良県外 12 ケ所	11	120	
自然系博物館	10 ケ所	10	400	平成 21 年 9 月 18 日～
登山用品店	32 ケ所	28	480	平成 21 年 9 月 18 日～
その他	山岳連盟等	3	25	平成 21 年 9 月 18 日～
	その他行政機関・関連機関等	115	385	
合計		253	2,830	

※ターミナル駅の掲出期間は 10 月 6 日～11 月 2 日

## ②バス利用者への記念品配布

- ・『バスに乗っておみやげをもらおう!』大台ヶ原秋のエコ旅キャンペーン」として、平成 21 年 10 月 10 日（土）から平成 21 年 10 月 23 日（金）までの期間、公共交通利用者に記念品を配布した。

## ③公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの効果検証アンケート調査

- ・普及啓発情報は 46.9%の回答者に認知されており、キャンペーンの効果として、3.7%の人が自家用車から公共交通に交通手段を変更したことが分かった。
- ・各種交通情報はアンケート調査回答者の 34.9%が目にしており、特にインターネットの閲覧割合が過去に比べても高かった。
- ・登山用品店へのポスターの配布は概ね有効で、「利用者が目に留めている」との情報から、登山用品店や道の駅におけるポスター掲出による情報発信効果は高いと考えられる。

## 3. 「より良好な森林地域の保全と質の高い利用の提供」に係る取組

### (3) 利用の質に関する調査検討（西大台利用調整地区認定者数の把握）

- ・期間中の延べ認定者数は、1,135 人であり、立入をキャンセルした人を除く推定立入人数は計 999 人であった。
- ・上限人数に対する認定者の比率は、利用集中期では 16.8%、利用集中期の平日及び利用集中期以外の土日祝日では 11.9%、それら以外の平日では 4.7%であった。

### (4) 西大台利用調整地区におけるガイド制度検討に係る調査

- ・ガイド団体からは、大台ヶ原における地域独自のガイドの育成等を目的としたテキスト作成等が望ましいとの意向を把握した。
- ・関西山岳ガイド協会では、ガイドのスキルアップの取組を実施しており、今後の課題として安全登山の徹底、接客業としての意識向上等を挙げている。
- ・第 1 回ガイド制度等検討ワーキンググループにおいて、これまでの議論及び大台ヶ原来訪者の意向とガイドの現状を踏まえた上で、ガイドに求められる資質や課題等を再整理し、ガイド育成に向けた取組を進めることとした。
- ・第 2 回ガイド制度等検討ワーキンググループにおいて、ガイド育成のため、ガイド養成のためのテキストとなる西大台ガイドブック（仮称）を、平成 22 年度完成を目標に作成することとした。

## 4. 「総合的な利用メニューの充実」に係る取組

### (1) 大台ヶ原自然資源調査

- ・現地調査により大台ヶ原における自然資源調査を実施した結果、眺望ポイントでは、西大台で 1 箇所、東大台で 3 箇所が確認された他、特徴的な森林景観、スポット景観、動物の風景、歴史の風景、音風景がそれぞれ確認された。

## (2) 自然体験プログラムの実施

- ・大台ヶ原や大峰山系などの豊かな自然の魅力を発掘、活用した地域活性化を推進するためのツアー「大台ヶ原の郷 ー秋遊ー上北山村」(ワーク 21 上北山と上北山村の共催)において、ツアー行程の一部として西大台利用調整地区における自然体験プログラムの実施や、ツアー満足度等に係るアンケート調査及び外部評価を行った。
- ・ツアーは平成 21 年 10 月 14 日(水)～15 日(木)の 2 日間で、一般参加者数は 7 名(夫婦 2 組、女性友人 3 人グループ 1 組)であった。
- ・ツアーに対する満足度は、訪問先、開催時期や日数、参加費用などを含めて全体的に高かった。ツアーガイドの説明についても、過半数が「大変分かりやすかった」と回答しており、評価は高かった。ただし、募集人 20 人に対して参加者は 7 人であり、今後の課題となった。

## (3) 大台ヶ原に係る展示等の実施

- ・京都御苑で開催された「近畿の豊かな自然展～山と水の息吹を感じて～」の開催期間(平成 21 年 7 月 10 日から 8 月 2 日)に大台ヶ原に関するパネル展示を実施した。また、7 月 20 日～22 日の 3 日間、大台ヶ原の自然環境等に関する解説イベントを実施した。
- ・3 日間、全 8 回の解説イベントへの参加者の合計は 52 名であった。参加者の半数近くが「大台ヶ原を知らない・行ったことがない」と回答しており、大台ヶ原の魅力や自然再生の取り組みについての普及・啓発の効果がみられた。
- ・自然解説についても、活発な意見交換がなされ、盛況に終わった。パネル展示等についても、大台ヶ原の自然再生に係る取り組みについての理解を深める効果があったと思われる。